



北海道大学病院薬剤部概要

Department of Pharmacy, Hokkaido University Hospital Outline



資格・専門認定者数一覧

博士号取得者	10名		
社会人博士課程	2名		
		【学会等認定制度】	
【日本医療薬学会】		ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター(ICD)	1名
指導薬剤師	4名	日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1名
認定薬剤師	7名	日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士	3名
がん専門薬剤師	3名	日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	2名
がん指導薬剤師	2名	日本医療情報学会 医療情報技師	1名
【日本病院薬剤師会】		日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師	1名
感染制御専門薬剤師	2名	日本アンチ・ドーピング機構 公認スポーツファーマシスト	2名
感染制御認定薬剤師	1名	日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
妊婦・授乳婦専門薬剤師	1名	日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	2名
		日本緩和医療薬学会 緩和医療暫定指導薬剤師	1名

薬剤師は、医薬品に関する情報の収集・提供、調剤や製剤による医薬品の提供と品質管理、病棟活動やチーム医療への参画、治験や臨床研究などのさまざまな業務や活動に関わっています。したがって、薬剤師には最新の治療および薬物療法に関する知識や技能に加え、その質の向上に寄与できる人材となるための努力や教育も必要です。

北海道大学病院薬剤部では、「安心・安全な薬物療法の提供」、「向上心を持つ薬剤師の育成」、「医療チームの一員としての役割を担う」を目標に、薬剤師が患者さんお一人おひとりの薬物治療に積極的に関わることができる環境づくりと業務改革を進めてきました。また、次代を担う薬剤師を育成するための教育や自己研鑽の機会を設けるように取り組んできました。

今後も研鑽を重ね、他職種との医療スタッフとも連携を取りながら、薬の専門家として医療に貢献していきたいと思っています。

北海道大学病院 教授・薬剤部長 菅原 満

病院概要

病床数	924床
医科診療科数	29科
歯科診療科数	12科
全職員数	2677人
薬剤師数	72人

福利厚生

産休・育休取得実績複数あり
映画館、全国宿泊施設等の優待
文科省共済組合福利厚生サービス
「えらべる倶楽部」「人間ドック」等

外部評価・施設認定

病院機能評価3rdG: Ver.2.0 認定
ISO15189認証取得
外国人患者受入れ医療機関認証制度認証
エイズ診療拠点病院認定
災害拠点病院(地域災害医療センター)
がん診療連携拠点病院
肝疾患診療連携拠点病院
小児がん拠点病院指定
造血幹細胞移植推進拠点病院
原子力災害拠点病院
臨床研究中核病院
がんゲノム医療中核拠点病院指定

ワークライフバランス

超過勤務(残業)平均時間 16.8 ±10.3時間/月 (2019/3実績)

業務は効率よく終わらせて研究、自己研鑽、プライベートの充実など自分のコントロールできる時間を持つことができます。

部員全員がリフレッシュ休暇3日、年次有給休暇5日以上を取得しています。

新人教育

新人育成カリキュラム(2年間)

入職時からカリキュラムに沿って部署配置します。1年半でバランス良くセントラル業務の修得を終え、病棟業務を開始します。基礎をしっかりと学んだうえで専門・認定資格取得に必要な要件を早期に満たすことが可能になります。

メンター制

メンター(人間的に信頼・尊敬でき、公私ともに安心して相談できる人・助言者)と定期的な面談を行い、共に考え、学んでいきます。

新人セミナー

新人向けに腎機能の評価や医療安全など基本的な知識を習得するセミナーを開催しています。

学会参加

交通費・宿泊費を負担して希望する学術集会に参加してもらうことで視野を広げるお手伝いをします。

ツール

パソコン、iPad mini、メールアドレス貸与
オンラインジャーナル・蔵書多数

研究内容・実績

2019年実績 論文・著書 12件 / 学会・講演会等発表 57件

主な論文

- ・ Efficacy of additional dexamethasone administration for the attenuation of paclitaxel-associated acute pain syndrome. Support Care Cancer. 2020;28(1):221-227.
- ・ Effect of palonosetron and dexamethasone administration on the prevention of gastrointestinal symptoms in hepatic arterial chemoembolization with epirubicin. Supportive care in cancer 2019 Nov 16.
- ・ 腎機能低下患者へのバンコマイシン初回負荷投与の安全性調査. TDM研究 2019 Sep;36(3):117-124
- ・ リネゾリド投与患者における嘔吐発現の因果関係の検証. 薬学雑誌 2019 Jul;139(7):1055-1061
- ・ 院外処方せん付帯情報を用いた情報連携に関する患者の意識調査. 日本病院薬剤師会雑誌 2018 Dec;54(12):1488-1492

業務

調剤室

的確に間違いなく調剤が行えるよう散薬監査システムやハンディ端末を用いた調剤過誤防止システムを導入しています。



調剤時に各種検査値を記したアシストシートを活用することで、今後必要となる検査値から判断する処方監査が可能になっています。過去の疑義照会の内容や特記事項なども確認できるため効率的に質の高い処方監査が行えます。

処方箋枚数 入院約500枚/日 外来約60枚/日

製剤室

院内製剤の調製や抗がん剤の無菌調製を行っています。安全性を考慮し、調製手順のチェック体制や記録の保管について確立しているほか、独自に院内製剤の使用期限についても調べています。

院内製剤調製 約45件/月

外来治療センター

がん専門薬剤師2名を専従で配置しており、継続的な薬学的ケアを念頭に医師の診察前後に患者面談を行っています。薬に関することだけでなく、体や心のケアも医師・看護師と協働して行っています。

患者面談件数 約36人/日 処方提案 約5件/日

治験

国内トップ5に入る治験件数を実施しています。ヒアリング、スタートアップから参加し、臨床研究開発センター等院内各スタッフ・治験依頼者と協働して治験薬を管理しています。

継続契約件数 約200件

手術部

サテライトファーマシーを開設し、医療用麻薬の払い出し、麻酔薬の処方監査、無菌混合調製等を行っています。



注射調剤室

主に入院中の患者さんや外来治療センターを利用して治療を受けられる患者さんの注射薬の調剤を行っています。2台の注射薬自動払出装置を導入しています。

処方箋枚数 約500枚/日



TDM

抗MRSA薬（バンコマイシン、アルベカシン、テイコプラニン）、やアミノグリコシド系抗生物質、抗真菌薬ポリコナゾール、免疫抑制薬ミコフェノール酸モフェチル等の薬剤の血中濃度測定および解析業務を行っています。

解析件数 約5件/日



病棟業務

すべての病棟に専任の薬剤師を配置し、各病棟において薬物療法が適正に行われるよう支援しています。

薬剤管理指導件数
約70件/日

チーム医療

ICT、AST、NST、PCTを始めHIV、糖尿病教室、肝臓病教室など様々な分野でチーム医療に参加しています。

妊娠と薬外来

妊娠と薬情報センターの拠点病院として、国立成育医療研究センターと連携をとり、科学的に検証された最新の医薬品情報を相談外来にて提供しています。

PET

核医学検査室内に用いられるPET用診断薬剤の製造・品質管理に従事しています。



病院薬剤師の今後

モノから人へ

全自動注射薬払い出し装置、全自動錠剤分包機などの機器や技術補助員のサポートにより、薬の取り揃えや事務作業の負担が大幅に削減されました。処方監査やチーム医療への参加など薬剤師でなくてはできないことに注力できるため、機械やAIにとって代わられない薬剤師を目指すことができます。

病院薬剤師職能の拡大

薬学部が増加で薬剤師数は増えてきましたが、薬剤師全体としては現在の業務内容のままでは近い将来に薬剤師が過剰になると試算されています。病院薬剤師の職能は拡大し続け、医師からのタスクシフトの潮流を受け病院薬剤師はまだ不足しています。

20年、30年後も活躍できる薬剤師を目指してみませんか？

待遇

身分 : 北海道大学①正規職員（任期付き）もしくは②契約職員（フルタイム）

* 正規職員（任期付き）は採用後、勤務実績に応じて任期の定めのない職員へ切り替わります。

試用期間 : ①正規職員（任期付き）…3箇月 ②契約職員…1箇月

諸手当 : 通勤、住居、扶養、超過勤務、期末勤勉、寒冷地、退職手当等

勤務時間 : 4週8休 週38時間45分（1日：7時間45分）

変則二交替制による夜間勤務及び休日出勤あり（月1～2回程度）

健康保険等 : ①健康保険（文部科学省共済組合）、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入

②健康保険（協会けんぽ）、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入

* 新卒（6年制卒）の場合の初任給：210,500円＋諸手当（平成31年4月実績、正規職員（任期付きの場合））

北海道大学病院薬剤部

〒060-8648 北海道札幌市北区北14条西5丁目

問い合わせ先 副薬剤部長 宮本剛典

TEL : 011-706-5681 E-mail : kusuri@med.hokudai.ac.jp

<https://www.huhp.hokudai.ac.jp/>

